諏訪地域の横断的な課題

【令和2年度 諏訪地域の構断的な課題に係る主な事業】

地域課題	R2横断的 な課題	R2施策の柱	進捗状況(R3.1.8現在)	
○諏訪湖のヒシの大域のと素水応 ・ を表する ・ を表する ・ では、 ・	 1 諏訪湖を活かしたまちづくり(諏) 推進) 	1 水環境保全	・水草刈取船によるヒシの刈取り【建設】※1 ・沿岸域、流入河川における小型刈取船によるヒシの刈取り【建設】(約87t) ・植生水路・沈殿ピットによる栄養塩類除去【建設】(植生水路:240m築造、沈殿ピット:経過観察) ・覆砂による湖底からの窒素・りんの溶出抑制【建設】※2 ・湖内における流況調査【環境部】データ解析中 ・水質予測シミュレーションモデル構築事業【環境部】委託業者決定 ・湖畔における動植物モニタリング調査等の実施【建設・環境部・水産試験場】※3 ・水辺の昆虫(メガネサナエ)のモニタリングの実施(羽化殻調査3回、成虫調査1回)【振興局】・	※1 約511tの刈取り ※2 覆砂実施:2箇所 下諏訪町高木沖、岡谷市湖畔 公園沖 ※3 (・水質調査:、[月1回]) (・淡水シジミ等モニタリング調査[月1回(4~12月])・ワカサ 半資源尾数調査[月1回(6~12月])、ワカサギふ化仔魚 調査[6回(4~6月)]、諏訪湖漁獲量調査[毎月])【水産試 販場】 (水質調査:春・秋・冬)【建設】 ※4 長野県環境にやさしい農産物認証取得 88ha ※5 3箇所(諏訪市餓鬼山、権現沢・富士見町内山) ※6 800ha ※7 9/26兩天により一部実施
		2 湖辺面活用・まちづくり	・流入河川河口部を中心とした治水・利水浚渫【建設】(上川、宮川) ・防災拠点整備に伴う護岸整備【建設】(4月_下諏訪町漕艇庫 完成(4/4_完成式典参加)) ・諏訪湖周サイクリングロードの整備【建設】※2 ・諏訪湖周・八ヶ岳と塩の道を合わせたサイクルツーリズムのルートの構築【計画中、3月実施予定】 ・サイクルツーリズムによる誘客促進に向けた受け入れ環境の整備※3(10/29市町村職員対象サイクルツーリズム意見交換会を開催) ・「河川空間のオープン化」に向けた取組支援【振興局・建設】※4	※1 コロナ感染防止のため中止 ※2 (7/29.武井田川〜六斗川間約1.0km供用開始、六 斗川〜ヨットハーパー間約950m整備中) ※3 サイクルステーションの設置検討等 ※4(10/28.河川空間のオープン化に係る2市1町との打 合せを開催) (11/9.諏訪湖かわまちづくり上諏訪地区協議会第2回 分科会(Bグループ)への参加)
		3 調査研究・学びの推進	・諏訪湖環境研究センター(仮称)の設置検討【環境部】 R3当初予算要求(設計費) ・「諏訪湖創生ビジョン」の周知・普及【振興局】※2 ・「諏訪湖の日」の周知【振興局】 ※諏訪湖の日プロジェクト20事業実施、新聞TVでの啓発・諏訪湖カワアイサ対策・生態調査(食性調査)の実施【振興局】※3(業務委託12/26~3/15)	※1 コロナ感染防止のため中止 ※2 フォトコンテスト(応募総数470点)実施、ウィキペディアタウン(R3.3.7予定)の開催等 ※3 管理と保護が調和したカワアイサ 魚食被害対策の検討
〇八ヶ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした地域の カを活かした地域の 活力割出 〇観光等色ある観光 素材の広、の 素材の広、の 素を見域展開 〇八系や景観の保全、 10系の集	2 八ヶ岳・霧ヶ峰 の魅力を活かした 地域づくりの推進	1 八ヶ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした総合的な振興方策の検討・展開	◎「八ヶ岳・霧ケ峰の魅力を活かした地域づくりの推進」に関するアンケート調査の実施※2【振興局】・八ヶ岳振興に係るワーキンググループ等による振興方策の検討・展開【振興局】・八ヶ岳周辺道路ビュースポットの情報発信【振興局】※3・広域観光マップ作成(諏訪地域、佐久地域、北杜市)【振興局】(発注済)	※1 コロナウイルスの感染防止のため中止 ※2 12/13発行月刊プラザ1月号にて管内全戸配布 ※3 インスタグラム、グーグルマップ7月30日公開開始
		2 観光客減少への対 応・特色ある観光素材の広 域展開	・観光事業者向けユニバーサルツーリズム普及促進セミナーの開催(コロナ禍影響により事業廃止) ・バリアフリー旅行相談窓口の設置に向けた支援(コロナ禍影響により事業廃止) ・諏訪湖周・ハヶ岳と塩の道を合わせたサイクルツーリズムのルートの構築《再掲》(計画中、3月実施予定) ・サイクルツーリズムによる誘客促進に向けた受け入れ環境の整備《再掲》(10/29市町村職員対象サイクルツーリズム意見交換会を開催) ・日本遺産魅力発信推進事業【振興局・県教委】 ・道路改良や歩道設置、修繕等、安全で快適な道路環境の整備【建設】※2 ・信州ビーナスライン連携協議会との連携(通年部会等出席) ・ちの観光まちづくり推進機構、建設業界等との連携による「信州ビーナスライン輝く道づくり」の推進【振興局・建設】※3	※1 コロナ感染防止のため中止 ※2 ビーナスラインの修繕:(主)諏訪白樺湖小諸線、 (一)茅野(停)八子ヶ峰線、(国)152号 歩道設置に向けた測量設計:(一)富士見原茅野線 広原 ※3 7/9」ビーナスライン一斉清掃への参加
		3 八ヶ岳・霧ケ峰の生態 系や森林資源の保全・利 活用	・ビーナスライン・鉢巻道路沿線の里山整備支援【振興局】※2.3 ・登山道の整備(12箇所(八ヶ岳9箇所、霧ヶ峰3箇所))※4 ・外来植物・優占植物除去による高原植生の回復(8日、229人、2.92t、1.4ha(優占種))【振興局】※5 ・ニホンジカの食害から植生を守るための防護柵の設置(6箇所、14.5km)【振興局】※6 ・霧ヶ峰自然保護センターの機能強化(詳細設計実施中)【環境部】	※1 コロナ感染防止のため中止 ※2 里山整備利用地域協議会の立上げ取止め ※3 観光地支障木伐採 1箇所 0.90ha ※4 年度内に12箇所完成予定 ※5 行政機関、地権者等参加者を限定して実施 ※6 6箇所、R1年度14.1Kmより増設